

2020年3月2日

**HSBC 投信、海外で人気の満期固定型投信
「HSBC グローバル・ターゲット利回り債券ファンド 2020-03（限定追加型）」を
日本の個人投資家向けに設定**

HSBC 投信株式会社は、近年、海外でニーズが高まる満期固定型ファンド、「HSBC グローバル・ターゲット利回り債券ファンド 2020-03（限定追加型）」（以下、「当ファンド」と言います。）を3月31日に初めて日本の個人投資家向けに設定することを発表しました。株式会社みずほ銀行、株式会社千葉銀行、クレディ・スイス証券株式会社が3月2日から取り扱いを開始します。

当ファンドは、「期間が決まっているもので運用したい」、「安定性を重視しながらお金を増やしたい」、「大きな変動を避けたい」などのおお客様のご要望に対応したファンドです。投資対象は、世界各国（日本を含む）の企業等が発行する債券で、信託期間は約4年です。外貨建資産については、4年間の期間固定で対円での為替ヘッジを行うことにより、償還までのヘッジコストを安定化させ、為替変動の影響を回避します。当初募集期間は、3月2日から3月30日までとなり、3月31日に設定します。その後は、期間限定で4月24日までは時価での購入が可能となります。

当ファンドの最大の特徴は、投資対象となる債券が全て当ファンドの信託期間約4年以内に償還する債券に投資する点です。債券は、額面で発行され、定期的に利息を受け取り満期時は額面で戻り特徴があり、満期が近づくと価格の変動が小さくなります。このような特性を生かし、投資する債券は基本的に満期まで保有することで、額面で満期を迎えることとなります。

このようなファンドは、近年海外でのニーズが高まっており、HSBC グローバル・アセット・マネジメントではアジアや欧州等における同種のファンドの設定額は約11兆円^{注1}に上ります。

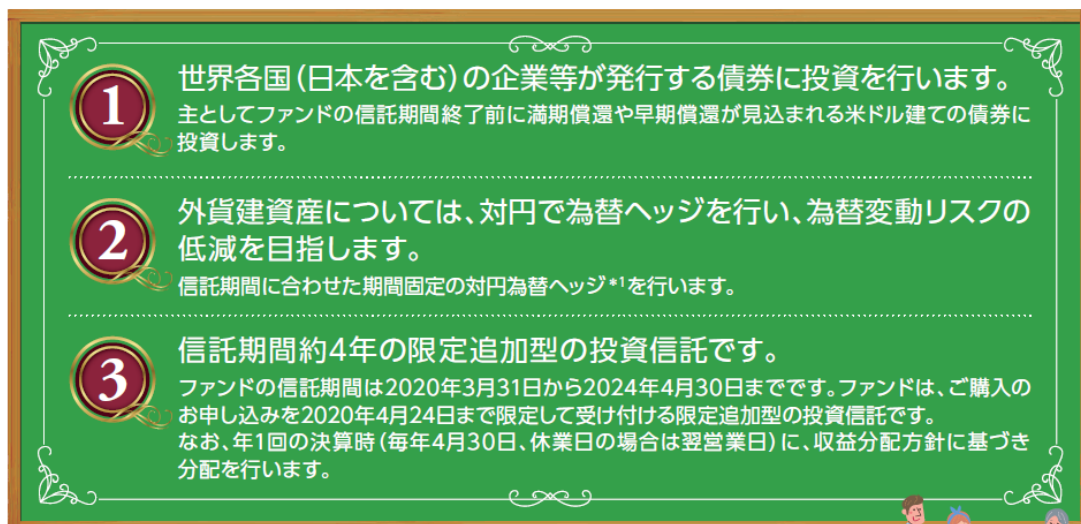
HSBC投信は、今後もお客様の需要に応じた投資信託やサービスをご提供して参ります。

注記：

1. 個人投資家、機関投資家を含む。1米ドル=109.51円で換算

次頁に続く

ファンドの特色



- 1** 世界各国(日本を含む)の企業等が発行する債券に投資を行います。主としてファンドの信託期間終了前に満期償還や早期償還が見込まれる米ドル建ての債券に投資します。
- 2** 外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。
信託期間に合わせた期間固定の対円為替ヘッジ*1を行います。
- 3** 信託期間約4年の限定追加型の投資信託です。
ファンドの信託期間は2020年3月31日から2024年4月30日までです。ファンドは、ご購入のお申し込みを2020年4月24日まで限定して受け付ける限定追加型の投資信託です。
なお、年1回の決算時(毎年4月30日、休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配を行います。



このようなお客さまに

当ファンド



*1 為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクおよび為替ヘッジコストの変動を完全に排除できるものではありません。

*2 当ファンドのポートフォリオにおける利回り(実質的な為替ヘッジコスト控除後)のことであり、毎年約2%の投資収益が得られるものではありません。上記の利回り水準は当資料作成時点での市場環境等に基づいて想定した水準です。実際の当ファンドのポートフォリオでは、ポートフォリオ構築時の市場環境等により上記の利回り水準が変更される場合があり、上記水準に維持されることを保証するものではありません。

*3 ここでは金利および為替変動リスクを想定しています。それ以外のリスクにつきましては、後掲の「ファンドの主なリスク」をご参照ください。

市場動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

次頁に続く

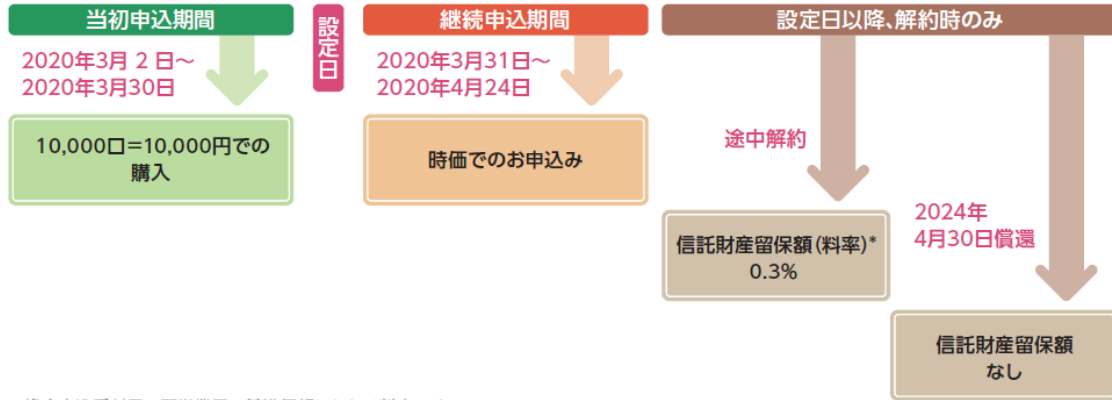


ポイント
1

約4年の信託期間



- 信託期間約4年の限定追加型の投資信託です。
- 信託期間は、2020年3月31日から2024年4月30日までです。
- 中途解約の場合には、信託財産留保額がかかります。
- 償還まで保有の場合には、信託財産留保額はかかりません。



*換金申込受付日の翌営業日の基準価額にかかる料率です。



ポイント
2

利回り約2% (円ベース、信託報酬控除前) を目指します



当ファンドのモデルポートフォリオ

平均残存期間	3.75年
平均最終利回り	4.05%

(ご参考)

想定為替ヘッジコスト (米ドル円、4年)	1.98%
信託報酬	約1%*1
実質の平均最終利回り (円ベース)	約1%*2

*1 信託報酬は年0.968% (税抜年0.88%)です。さらにその他費用等がかかります。このため、費用総額控除後の平均最終利回りは上記の水準を下回ります。

*2 実際のポートフォリオの組入債券の償還時期によっては上記の水準を下回ることがあります。

※上記は2020年1月10日時点での市場環境等に基づいて作成したモデルポートフォリオ (通貨別比率、米ドル100%) および想定為替ヘッジコストです。モデルポートフォリオはあくまで参考情報の提供を目的としたものであり、実際の当ファンドのポートフォリオとは異なります。

出所：HSBCグローバル・アセット・マネジメント (米国) インク

データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

次頁に続く



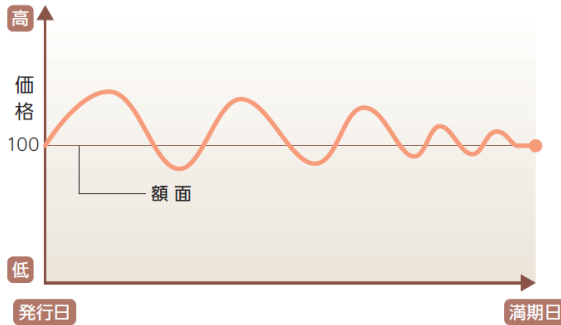
ポイント
3

約4年以内に償還を迎える債券に投資します



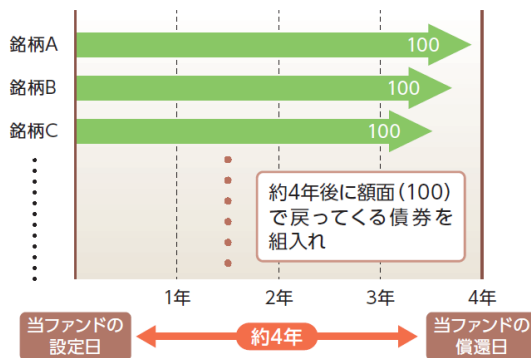
- 債券は満期まで保有することで額面で償還され、投資元本が返済されます*。
当ファンドは信託期間(約4年)以内に満期を迎える債券に投資を行い、原則として満期まで保有する運用を目指します。

【債券価格の動きのイメージ図】



*債務不履行になった場合、額面を上回る価格で購入した場合を除きます。
※上記はイメージ図であり、実際の運用成果を示唆するものではありません。

【当ファンドの構成銘柄別残存期間のイメージ図、(ポートフォリオ構築時)】



ポイント
3

期間固定の為替ヘッジ*を行います

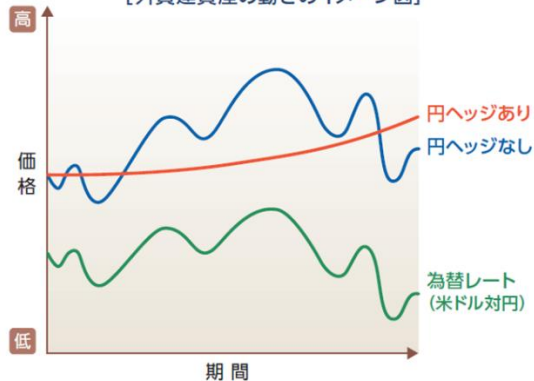


- 期間固定の為替ヘッジを行うことにより、為替変動の影響が回避され、償還までのヘッジコストが安定することを目指します。

為替ヘッジのメリット

- 為替の変動を抑えることができます。

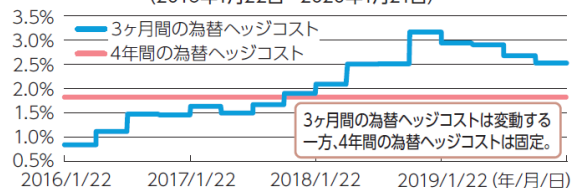
【外貨建資産の動きのイメージ図】



期間固定の為替ヘッジのメリット

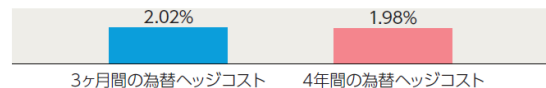
- ヘッジコストの上昇に伴う投資リターン低下を回避することが期待されます。

【ヘッジコストの比較(米ドル円、年率換算)】
(2016年1月22日~2020年1月21日)



短期間および長期間の為替ヘッジコストはほぼ同水準

【為替ヘッジコスト(米ドル円、年率換算)】



※2020年1月10日時点

出所: リフィニティブのデータをもとにHSBC投信が作成

*為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクおよび為替ヘッジコストの変動を完全に排除できるものではありません。
※上記はイメージ図であり、実際の運用成果を示唆するものではありません。

データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

次頁に続く

HSBC グループの持株会社である HSBC ホールディングス plc は英国・ロンドンに本部を置いています。HSBC グループは、ヨーロッパ、アジア・太平洋、南北アメリカ、中東、北アフリカにまたがる 64 の国と地域でお客様にサービスを提供し、2兆 7,150 億米ドル（2019 年 12 月末現在）の総資産を持つ、世界有数の金融グループです。

HSBC グローバル・アセット・マネジメント

HSBC 投信株式会社が属する HSBC グローバル・アセット・マネジメントは、個人・事業法人・機関投資家に投資ソリューションを提供する、HSBC グループにおける資産運用部門の総称です。HSBC グローバル・アセット・マネジメントは 26 の国と地域に拠点を持ち、それぞれのマーケットを深く理解している国際的なネットワークを活かして、お客様にグローバルな投資機会を提供しています。HSBC グローバル・アセット・マネジメント全体の運用資産は約 5,100 億米ドル（2019 年 12 月末現在）です。

関連するファンドに関する事項

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により、基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面（目論見書補充書面等）」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

当ファンドの主なリスク

当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。当ファンドの主なリスクには、①金利変動リスク、②信用リスク、③為替変動リスク、④流動性リスク、⑤カントリーリスク等があります。ただし、基準価額の変動要因は、これらに限定されるものではありません。

当ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入時にご負担いただけます。 購入金額に、 2.20%（税抜 2.00%） を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。	商品内容の説明ならびに購入手続き等にかかる費用
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.30% の率を乗じて得た額（換金時）	換金される投資者に換金で生じるコストを一部負担していただくものです。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	年 0.968%（税抜年 0.88%）	ファンドの日々の純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額とします。ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。
（委託会社）	税抜年 0.45%	ファンドの運用等の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
（販売会社）	税抜年 0.40%	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	税抜年 0.03%	運用財産の管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
その他費用・手数料	ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。 ・有価証券売買委託手数料／保管銀行等に支払う外貨建資産の保管費用／信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等 ・振替制度にかかる費用／印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用／監査法人等に支払う監査報酬等 （純資産総額に対し上限年 0.20%として日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末の最初の 6 ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。） その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。	

※ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

<当資料のお取扱いにおけるご注意事項>

当資料は、HSBC 投信株式会社（以下、当社）が情報提供を行う目的で作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼に足ると判断する情報に基づき作成していますが、その正確性を保証するものではありません。また、当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

以上

HSBC 投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 308 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会